



# 令和6年能登半島地震 2年目の支援方針を考える

能登半島地震から1年2ヶ月が経過しました。昨年9月の豪雨による複合的な被害もあり、現地の復旧、復興にはまだまだ時間を要します。本学は、石川県、現地団体と連携し、2025年3月まで計7回の学生ボランティアプログラムを実現しました。

ミーティングでは活動報告、現地報告の後、「2年目の支援方針」を話し合いたいと思います。



## 第7回 災害支援ボランティア ミーティング

**日時** 2025年 3月1日(土) 10:00~12:00  
(受付9:30開始)

**会場** ポートアイランドキャンパス アクティブ・スタジオ  
(D号館3階)

**定員**：50名

**プログラム**

◆開会挨拶 中村学長

◆活動報告 学生リーダー

「被災地応援物産展」「長坂地区地域連携」「能登半島学生ボランティア」

◆能登半島から現地報告 ぶなの森 今井 淳美 さん

◆グループディスカッション 進行：水本 有香 教授（現代社会学部社会防災学科）

「能登半島被災地支援2年目への方針」

◆学生へのエール

◆閉会挨拶 西脇学生支援センター所長



お申込みはコチラから

事前申込みが必要です

申込締切  
2/16(日)

参加者  
募集中  
参加無料

主催 神戸学院大学災害支援対策本部会議

【お問い合わせ】神戸学院大学ボランティア活動支援室 TEL078-974-2413

## 第1・2クール 活動場所：七尾市、内灘町

日程：第1クール3/11,12

第2クール3/13,14

参加学生数：計16名（引率 計4名）

<被災家屋の片づけ>七尾市災害ボランティアセンターの仲介で被災家屋の片づけなどを行いました。



## 第3クール 活動場所：穴水町、能登町、珠洲市

日程：6/28~30 参加学生数：8名（引率2名）

<珠洲市の農業生産法人で活動>

神戸で行った「被災地応援物産展」で販売したお店の視察（穴水町のお菓子工房、能登町の500年続く米飴の商店）、珠洲市の被災された農業生産法人で小豆の選別作業。

## 第4クール 活動場所：能登町、輪島市、珠洲市

日程：9/9~12 参加学生数：10名（引率2名）

<被災者の健康体操&茶話会を実施>

被災家屋の大量の瓦の廃棄作業、小豆の選別作業（6月から継続）、イベントNPOの音響、照明設備の清掃、被災者を対象とした健康体操&茶話会（本学主催）と非常にバラエティ豊かな活動ができました。



## 第5・6クール 活動場所：穴水町、能登町、珠洲市

日程：第5クール 10/11~13

第6クール 10/18~20

参加学生数：計17名（引率 計3名）

<9月の豪雨で、学生ボランティアを緊急募集>

夏休みの活動が終了し、成果を吟味しながら2024年度後期の活動をじっくり検討したいと考えていました。そこに、9月21日からの豪雨が能登半島を襲い、復旧、復興をめざす被災者にさらなる被害をもたらしました。

第7クール 2025年3月2日~4日予定！

能登半島地震

1月1日

教職員  
先遣隊

2月

3月

被災地応援物産展  
（ノエビア  
スタジアム）

5月

6月

9月

能登半島豪雨

9月21~23日

10月

被災地応援物産展  
（大学祭）

11月

支援2年目へ...